

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

2022

1月号  
vol.666

月刊

# 同友

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU



特集

共同求人委員会×福岡大学

「アフターコロナの新卒採用」座談会

21世紀型  
自立型  
企業づくり

安心して『失敗』できる社会づくり

星野 毅氏 一般社団法人 共育ネットワーク

動画も観れます



ポケット月刊同友

福岡県信用保証協会

コロナ禍における中小企業支援

当協会は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業の皆様の資金繰りを支援するため、金融機関や自治体、関係機関等と連携し積極的な資金供給に努めました。

コロナ禍の影響が大きく、また長期化していることなどから、令和2年3月から令和3年11月末までの新型コロナウイルス関連の取り組み実績は保証承諾件数87,964件、保証承諾金額1兆5,500億円となりました。

▼R2.3～R3.11新型コロナウイルス関連保証制度 業種別保証承諾実績【金額単位：百万円】

業種	件数	件数割合	金額	金額割合
製造業	8,637	9.8%	171,568	11.1%
建設業	20,534	23.3%	379,761	24.5%
卸売業	9,666	11.0%	226,768	14.6%
小売業	21,071	24.0%	295,790	19.1%
運送倉庫業	2,771	3.2%	71,753	4.6%
サービス業	19,964	22.7%	305,389	19.7%
不動産業	4,233	4.8%	82,058	5.3%
その他	1,088	1.2%	16,865	1.1%
合計	87,964	100.0%	1,549,952	100.0%

※飲食業は小売業に含む

保証だけでなくプッシュ型の経営支援にも注力

アフターコロナを見据え令和3年度からは中小企業者向けの融資の保証だけではなく、経営支援にも注力しています。

具体的にはコロナ融資の利用企業については、金融機関から半期に一度「業況報告書」の提出を受けており、当協会は「業況報告書」を精緻に分析しています。

売上が大幅に減少している企業や資金繰りが逼迫している企業に対しては、金融機関と連携して訪問し早期の業況把握に努めるなどの「プッシュ型の経営支援」を推進しています。

費用負担を抑えた専門家派遣事業

必要に応じて経営計画の策定支援とフォローアップのための専門家派遣事業や、複数金融機関との調整が必要な場合はバンクミーティングを開催するなど中小企業者の経営支援を後押ししています。また専門家派遣事業につきましては、国や自治体の補助金等を活用して費用負担を抑えた利用しやすい制度としています。専門家を交えて自社を取り巻く経営環境等を議論し経営計画を策定することは、中小企業の経営力向上には効果的であり、ぜひ本制度をうまく活用していただきたいと思います。

同友会 三つの目的

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

はみだし  
レポート

今月の自立型企業づくり



一般社団法人 共育ネットワーク  
理事長・統括校長  
星野 毅 氏 (筑紫支部)



株式会社吉丁 後継者  
満永 貴久 (筑紫支部)

星野さんとの出会いは私が同友会に入会して初めて参加した例会でした。何もわからない私に話しかけていただき、緊張せずに思ったことを話せば先輩経営者の方々が答えてくれるよと教えていただきました。懇親会の席でも陽気にたくさん話をされて、周囲を笑わせています。たまにお酒を飲みすぎておかしくなつてはいますが、(笑)。

星野さんは若い経営者から悩みや相談を受けると親身になって考え、色々アドバイスをされています。筑紫支部においても、昨年まで副支部長をされておられ、支部の運営に活躍されていました。学校教育において、生徒と先生が対等の立場で、お互いの意思を認め合いながら共に育つことを大切にされています。また、常に生徒のことを気にかけて、「みんながしあわせな楽校」づくりをされておられます。

今月の表紙



一般社団法人 共育ネットワーク 理事長・統括校長  
星野 毅 さん (筑紫支部)

撮影・文／株式会社ココスイメージ 富谷 正弘 (玄海支部)

共育ネットワーク理事長の星野さんを撮影させていただきました。「私たちは子供達の未来のために地域の人々と共に育み、共に育ちあう環境を創造します」という理念のもとにフリースクールの運営にあたっています。笑顔と感謝で人生を楽しんでいる素敵な方です。好きなものは日本酒、鮓、とんかつ、シュークリームだそうです。今度、居酒屋にお供したいです。素敵なポートレートが撮れました。感謝です!



共同求人委員会

福岡大学

# アフターコロナの新卒採用

同友会活動の一つである共同求人活動が始まって約四十年。多くの会員が取り組む新卒採用ですが、今回は学生の意識や就職環境がどう変わり、これからどうなっていくのかを、採用する立場と学生を送り出す立場から議論をしていただきました。

文・写真 未来文書株式会社 南 史聡(広報部/西支部)

前半



**参加者** 福岡大学商学部 教授 合力 知工氏  
株式会社鹿田産業 代表取締役 鹿田 和正氏(福友支部/共同求人委員会 副委員長)  
株式会社ブンカ巧芸社 専務取締役 峯元 秀爾氏(東支部/共同求人委員会 副委員長)  
一般社団法人福岡県中小企業家同友会 専務理事 川畑 義行氏(司会)

川畑 まず、みなさんの自己紹介をお願いします。

**合力** 私は福岡大学商学部で経営戦略論を担当しています。同友会さんとは十年以上お付き合いさせていただいておりますが、現在は地域づくり推進本部に携わらせていただいております。  
本学では、教鞭をとりつつ、地域連携推進センター(十二月より社会連携センター)にてセンター長として業務に携わっていますが、それ以前は就職・進路支援センター(十二月よりキャリアセンター)にて、四年間センター長として、学生の就職に関わってきました。本日は、そうした経験を活かして皆様と意見交換ができればと考えております。



合力 知工教授

すか？」と聞かれてもあいまいな答えしか返せませんでした。  
そこであすなる塾と経営指針作成セミナーに参加して、それから一年は自身の勉強ということで、経営指針書を作ることがメインになりました。  
そこから何とか経営指針書を作って、ビジネスモデルを変える必要性を感じ、そのための新しい力として新卒採用を始めました。  
もう一つ、既存社員にも変わってもらわないといけないと思って、共育委員会に参加するようになりました。その時、社員教育について相談したのですが、社員教育は漢方薬のようなものだから、あせらずに続けていけば、共同求人活動で採用した人がある程度の人数に達したところで変化が見えてくると言われました。それまでは辞めたから採用という、行き当たりばったりの採用をしていましたので、本当に印象的でした。

**峯元** 二〇〇八年のリーマンショックのときに、離職者が二十五%。リストラと、それに続く離職という形で続きました。  
大きな赤字を出し、先行きも見えないという中、仕方がないという決断だったのですが、それに納得しない人もいて、「自分たちをモノ扱いするような会社にはいられない」と、本当に残ってほしい社員まで辞めていってしまいました。

そこで、僕らも変わらなければならぬということ、まずは計画性のない仕入の見直しから始めて、そこから人の教育の必要性に気づき、「ものづくりはひとり、いい製品を作るならいい社員を作ろう、いい社員を作るなら



峯元 秀爾氏

**鹿田** 事業はすだれなどの製造・販売で、創業は大正元年(一九一二年)です。二〇一四年には「八女すだれ」として福岡県知事指定特産民工芸品に認定されました。私自身は二〇〇一年に今の会社に後継者として入社しました。  
同友会は、私が社員教育に悩んでいた時に、相談していた方から誘われて八年前に入会しました。

**峯元** 業種は建設・製造業で、看板をメインに、企画から納品までを一括してやっています。  
会社は祖父が事業を始めて、私と兄が三代目として経営しています。本社は鹿児島なのですが、福岡に営業所を出したのが二十四年前。そこから九州一円をカバーするよう運営しています。

同友会は五年前に入会しました。それまでは兄が鹿児島同友会で勉強していたのですが、こちら

いい環境を作ろう」ということで、社員も賛同する中で、環境や風土の改善に取り組みしました。そして、その四年後から、同友会の学びの中で新卒採用を始めることになりました。  
はじめに取り組んだ時は、まわりの会社と比べて自分の会社はどうだということが分かったと思います。休日数は年間百日に満たず、まわりの会社は百日以上で、これでは当社が選ばれるわけがないと思いました。

これをどう脱却すればいいかを考え、計画性のない仕事はやめよう、一つ一つの仕事に向き合えるようにしようということで、みんなで意思を統一していきました。  
今は変形労働制を取って土曜の閑散期は休みにし、有休をうまく使って、働き方を変えました。新卒に選ばれる会社づくりということを共同求人活動で学んだと思います。

それと、二〇一二年から始めた

でも学べる機会があるということ、入会しました。

川畑 共同求人活動に取り組もうと思ったきっかけと会社が変わったことは何でしょうか。

**鹿田** 私が同友会に入ったのは社員教育をやりたいという目的があったので、共同求人委員会には入会一年前から参加しました。まずシヨッキングだったのは、社員を連れて合同入社式に参加した時ですね。新入社員への言葉で、代表理事が「みなさんの最初の仕事は、経営理念を覚えることです」と話したのですが、その時経営理念を持っていなかったんです。帰りの車の中で「うちの経営理念は何で



鹿田 和正氏

新卒採用ですが、その時に採用した人たちが、今役職を持って仕事をしてもらっています。時間はかかりましたが、あの時採用していなかったら怖いと思うくらい成長してくれています。

川畑 今、採用をする側の新卒採用のピフォーアフターをお話しいただきました。今度は大学の立場として、学生の変化や動きについて伺います。



川畑 義行専務理事

学生の傾向

**合力** まず、現在の新卒採用の環境の変化については、二〇二〇年度の有効求人倍率は二・一倍、前年度より〇・四五ポイント下回っています。これは一九七四年のオイルショック以来四六年ぶりの下げ幅です。

また、大手の求人数は減っている、二〇二二年度卒の大学生の求人状況を従業員別で見ると、三百人未満の会社では五、二八倍ですが、五千人以上だと〇、四一倍と低水準です。コロナ前の二〇一九年度卒で三百人未満と五千人以上の倍率の開きが九、五倍もあったことを考えると、二〇二二年は四、七八倍ですから、中小企業にとってはチャンス之年と言えるでしょう。

学生の就職活動は、これまでまずは関東の大企業、それから福岡の大手企業で、中小企業は選択肢の外だったという状況が、ここ五年くらいで変わってきているように思います。本学ではベンチャー起業論という経済学部のコア講義があり、受講した学生たちの多くは、自分で選んだインターンシップ先の中小企業で働きたいと考える傾向が強く、そのように真面目に中小企業について勉強し、理解の深い人ほど中小企業を選

ぶ傾向があるように思います。

**就活の方法**

インターンシップは、就職の近道と捉えている学生が多く、企業側も採用活動の主要ツールの一つと考えているところが多いように感じます。

二〇二二年度卒のデータでは、インターンシップを実施している企業が六十%弱で、インターンシップに参加した学生が八五%となつています。ほとんどの学生がインターンシップに参加しており、学生にとってはインターンシップが就職というイメージが強くなっているように思います。

参加時期は八月と二月の休み期間中が多く、情報収集はその二か月前が多いので、インターンシップについての情報を戦略的に学生に発信していくことが大事です。

**オンラインの傾向**

関東の企業はまず関東の学生

を募集して、それから関西、九州という流れだったのが、今はオンラインを使って同時にやっているようです。また、本学が毎年開催しているOBやOGの訪問会も、オンラインであれば遠方の卒業生の声も聴けるので、対面に戻ったとしても、オンラインも併用されるのではないかと思います。

**学生の意識**

本学では、学生たちがいわゆる社会人基礎力を一年次から学んでいるのですが、そこでは、「好奇心、持続性、楽観性、柔軟性、冒険心」を養えるような教育を行っています。こうした教育を受けた学生たちは、就職したい会社を調べるときに、自分たちが会社でこのいうことを実現できるかどうかを見るので、企業としてもそれが実現できるといことを発信しなければ、学生は魅力を感じないと思います。

実は今の学生はそういうところ

**中小企業の課題**

学生が中小企業を探す時、地元どんな良い会社があるのか、調べ方が分からないと言います。これは、ニーズがあるのに、中小企業がターゲットに向けて、戦略的に情報提供ができていないと



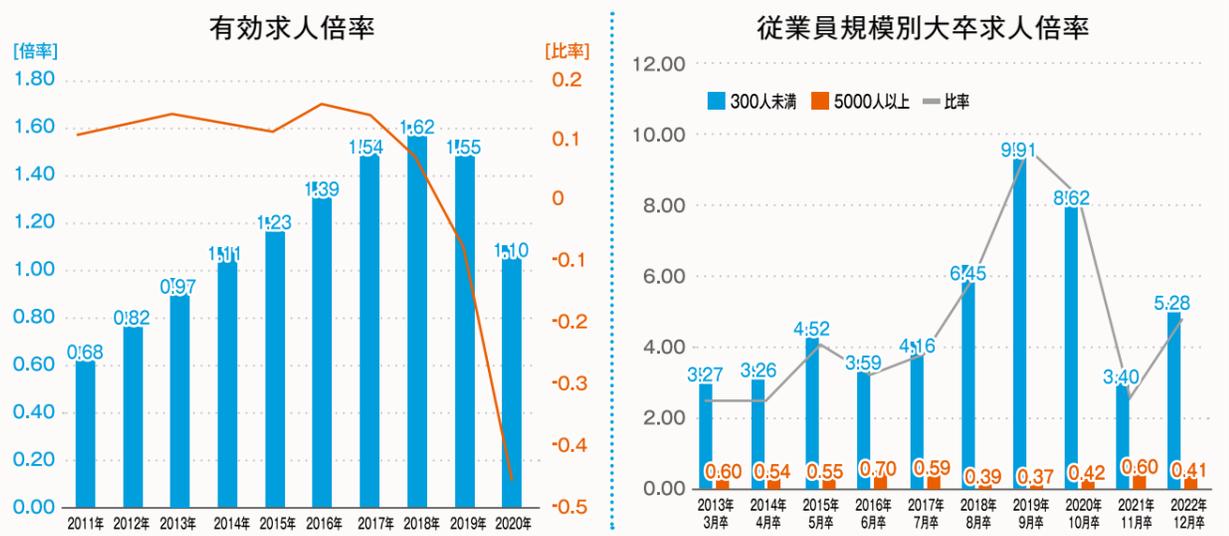
いうことを意味しています。

例えば鹿田さんのところは八女すだれ、峯元さんのところはデジタルサイネージやプロジェクションマッピングなどの技術があります。多くの学生は伝統やデジタルに興味を持っているので、そういう「売り」がある会社は、やり方次第ですごく採用ができると思います。

また、特に「売り」がないと考える企業も、実はないわけではないかもしれません。発想の仕方を少し変えてみるだけで、「売り」は見えてくるのではないかと思います。自社では弱みとと思っていることも、本当に弱みなのか、思考をポジティブにして工夫すれば強みになるのではないのでしょうか。

今回は、現在採用に対して行っている工夫と、中小企業が考えるべきことについてお伝えします。

**グラフでみる求人倍率**



厚生労働省「一般職業紹介状況」より

リクルートワークス研究所「第38回 ワークス大卒求人倍率調査(2022年卒)」より

**座談会参加企業データ**

**株式会社鹿田産業**

- 創業:1912年
- 設立:1967年3月
- 社員数:24名(パート・アルバイト除く)
- 住所:〒834-0114 福岡県八女郡広川町太田428
- TEL:0943-32-1141
- 事業概要:すだれ製品の製造・修理・販売、藤製品の輸入・修理・販売、ムートン製品の輸入・修理・販売、国産い草製品の仕入・販売、カーペット製品の輸入・販売、筑後地域工芸品の仕入・販売
- HP:https://shikada.co.jp

**株式会社ブンカ巧芸社**

- 創業:1953年5月
- 設立:1958年5月
- 社員数:80名
- 住所:本社 〒899-2701 鹿児島県鹿児島市石谷町3655 福岡支社 〒816-0922 福岡県大野城市山田3-4-8
- TEL:本社 099-295-4700 福岡支社 092-586-0180
- 事業概要:屋外・屋内広告全般の企画・製作・施工・メンテナンス(屋外看板・屋内サイン・掲示板・黒板・デジタルサイネージ・電光掲示板・プロジェクションマッピングなど)、店舗内外装の企画・製作・施工、広告媒体看板の企画・製作・施工
- HP:https://bunkakougeisya.co.jp



# 安心して『失敗』できる社会づくり

社会貢献と利益追求の間で考えたこと

一般社団法人 共育ネットワーク 理事長・統括校長  
**星野 毅** 氏  
たけし  
 筑紫支部

## フリースクールとは？

星野さんは2010(平成22)年、久留米市に中高生を主体としたフリースクールを開校、その後2021(令和3)年には太宰府市にも開校しました。

フリースクールとは何でしょうか。星野さんに伺いました。「主に義務教育の子どもたちで、『不登校』と呼ばれている子どもたちを受け入れ、それぞれの状態にあった自立・学びの機会を提供する施設場所を言います。『不登校』を手元の辞典で引いてみると、『登校の意志を持ちながら、心理的理由から身体的症状を含む登校忌避状態を生じるなど、登校しなくてもできない状態を指す』とあります。『子どもがしていることは選択肢の提供であり、不登校の生徒の居場所づくりです。必ずしも学校に戻ることを目的



『高校卒業資格』を取得するには、全日制や定時制そして、通信制があります。通信制では本来、郵便や放送視聴を利用した添削指導(レポート)が主体ですが、登校しての授業(スクーリング)も必要です。しかし、フルスクールの出席では現行の法制上は高校卒業資格が認められていません。

## なぜ、フリースクールを？

星野さんがフルスクールの開校するようになった理由は、それまでの人生の歩みに関係しています。

星野さんは、1960(昭和35)年に福



岡市で生まれ、その後太宰府で育ちました。東京の大学に進むと、学生時代はアルバイトとホテルのバイトに明け暮れました。

卒業後は地元に戻って百貨店に就職し、2000(平成12)年に退社しました。「不登校が高じて退職したので、やりたいことがあったわけではありません。社会情勢を踏まえて、パソコンスクールやインターネットに係る仕事を立ち上げていました」

その頃、知り合いに通信制の高校を手伝ってみたいかと誘われ、視察することになりました。いわゆる腰パン(ズボン)の腰のあたりまで下げて履くこと、茶髪耳ピン(耳にピアス)の生徒を見るにつれ、「なんで私がこんな生徒の面倒を見なきゃいけないんだと率直に思いました。しかし何か心に引っかかることがあったのも事実です」

それから数年たったある日、郵便局の配達員さんが「あれ？星野君だよね？」と声をかけてきました。中学時代の同級生だとすぐに分かったので名前を言ったところ、すごく喜ばれました。彼は中学時代は不登校でしたが、星野さんは会えば普通に話してくれたのでよく覚えていたということです。

「私はどちらかというとクラスの中の人気者より、輪からちょっと外れている

ような人が気になるんですね」

星野さんはホテルや百貨店というサービス業の象徴と言える畑を歩んできました。そのため学校という場であっても、お客様である『生徒』が求めるものを提供する、お困りごとを解決するという考えはあっても良いし、不登校の生徒にこそ、そうあるべきと考えました。

そんな時、お世話になつていらっしゃる方から長野県上野市に本校を構える通信制の『さくら国際高等学校』の仕事を手伝ってみたいかという声がかかりました。その高校の荒井裕司理事長の話を聞いた途端、「この人に会いたい」という衝動に駆られ、すぐに連絡を取り、東京校に飛んで行きました。「初対面であり、たった一日のことでしたが、その人柄にすっかり魅了されてしまいました。こういう人と一緒にこの仕事をしたいと思いました。食事の時に「じゃ、星野さん、九州を頼みます」とさうらつと言われ、「はい、わかりました」と即答したのでした。

2010(平成22)年に久留米市でフリースクールを開校し、さくら国際高等学校の教育連携施設となりました。

## 中小企業の一番の商品は

話は少し遡ります。星野さんは百貨店を退職し、独立して間もなく同友会に入

会しました。「ここは経営の勉強をする場だな」と感じ取りました。そこで一年はまじめに通ってみようと思いましたが、さらに会員の人間ウォッチングを始めたのでした。

ある人は例会後の懇親会では必ず報告者の隣に陣取っていました。星野さんも真似してみると、例会報告の内容の裏話を聞くことができました。またある人は、いつも明るくジョークを飛ばしているだけでしたが、実はお客様から厚い信頼を得て業績はすごいということが判明しました。

ある時、(株)樋口金十郎商店の松尾佳雄さんとお話する機会がありました。「星野さんのとこの一番の商品はなんですか」と聞かれ、当時携わっていたいくつかの商材の話をしました。すると松尾さんは「中小企業は、社長が一番の商品なんですよ」と言われました。「この言葉は強心に刺さりましたね」と星野さんは振り返ります。それから、自分は何を売りにできるかを考えました。

そして前述のとおり、その後フリースクールを開校して、2014年には(一社)共育ネットワークを立ち上げます。「共育」の言葉は同友会の学びから取り入れました。生徒も先生も地域の人たちも、共に育み、共に育つ場でありたいとの願いが込められています。

# 一度の失敗も許されぬ世の中で 何度でもやり直しできる社会をつくりたい

## 訪れた経営危機

五年ほど経過した時でした。「面接指導施設(分校のような位置付け)の認可を得なければ、次年度から生徒募集ができません。また、移転には一カ月の猶予しかありませんでした。そんな中、日頃は腰の重たい生徒たちがこぞって引越しの手伝いに来てくれてぎりぎり間に合いました。

また、経済的な問題は家賃や人件費などの大幅な増加でした。すぐに東京に飛

び、荒井理事長に自らの思いをぶつけ本気度を示し支援をお願いしました。それでこの危機を何とか乗り越えることができました。「これで腹が座りましたね」と星野さんは振り返ります。

体制が整ったことで生徒募集がしやすくなり、徐々に経営は軌道に乗っていききました。

## 社会貢献と利益追求の間で

同友会ではあすなる塾や経営指針作成セミナーに何度も参加しました。

「世の中は一度失敗したことで人を責めてしまう。そこばかりフィーチャー(取りざた)されてしまふ。

何度でもやり直しができる社会を作りたいと考えていました」

「安心して失敗でき、何度でもやり直せる社会をつくる」

これをミッションとしました。目指すべき経営の方針に「失敗」と

いうキーワードを入れることにはずっと抵抗を感じていました。しかし同友会の仲間と相談すると、わかりやすい星野さんらしいと言われました。

次に戦略や計画を立てるにあたり、「不登校の生徒が増えること」自社の利益につながる」という図式に大いに悩みました。しかし、ここでも同友会の学びが生きてきます。同友会の目的に「強じんな経営体質をつくる」とあるのは、「経営指針書を作成して実践し、黒字企業をめざす」ことです。利益を出し、より良いサービス(教育の質の向上・環境の整備)をお客様(生徒)のために還元すればいいと気づきました。

「私自身は教員免許を持っていません。先生の仕事はそれぞれに任せています。私の仕事は子どもたちが相談しやすいような雰囲気づくりです。人は雑談できる人に相談すると言います。だから私は自身やスタッフが雑談力を上げることに徹しています」

取材の最後に星野さんが考える自立型企業についてお聞きしました。

## 支えてもらっている

「卒業式で『自立』について話をします。自立とは文字通り自分の足で立つていくことですが、『人』の文字が示すように人

# 広報情報化交流会を開催



広報情報委員長  
濱田満広(大牟田支部)

## 報告① 情報セキュリティと法律

井口夏貴さん(井口法律事務所・西支部)からは情報セキュリティに関する法律の内容と、企業に課せられた責任について報告していただきました。近年のサイバー攻撃による情報漏洩の被害は、増加の一途をたどっており、我々中小企業にとっても無関係とは言えなくなってきました。

## 報告② 情報セキュリティ対策への取り組み

前田憲太郎さん(株式会社ストラテジア・福友支部)からは中小企業を守るべきリスクと、自社の情報を守る手段について報告していただきました。

現在、便利なクラウドサービスが増加し、企業内でもインターネット上のサービスを受ける機会が増えてきました。しかし、そのすべてが安全というわけではなく、情報漏洩のリスクも増加しています。情報セキュリティに関する意識変革は必要ですが、具体的な対策方法を知ること、また大切なことです。

中小企業も顧客情報、個人情報、社員情報など守らなければいけない情報が多くあります。どのような法律があるのか、セキュリティ対策はどのようにすれば良いのかなど、とても学びのある交流会でした。

## 第7回 理事会だより

日時 2021年11月24日(水) 14時30分~17時13分 会場 福岡県中小企業振興センター  
出席 38名(出席率86.4%) 議長 坂本 敏弘(副代表理事) 401号会議室

### 第60回定時総会にむけて

第60回定時総会の企画について、記念講演の報告者として、株式会社EVENTOS 川中英章氏(広島同友会、中同協共同求人委員会委員長)が提案され承認された。

### 会員企業の動き

#### ●経営革新計画承認企業

2021年10月(県87件/うち同友会会員・企業2件)  
・株式会社ベストエフォート 中嶋 浩一朗 氏(南支部)  
<テーマ> 非公開  
※累計で福岡県全体では8,503件、会員企業は延べ533件。

#### ●表彰

<第20回福岡県男女共同参画表彰 社会における女性の活躍推進部門>  
・うきはの宝株式会社 大熊 充 氏(りょうちく支部)

★理事会議事録の詳細はe.doyuの「文書管理」にある「理事会議事録」にて御覧下さい

### 対外関係報告

- ・第6回記者懇談会実施について  
2022年2月24日(木) 対面で開催する予定。
- ・第9回福岡経済八社会との懇談について  
2022年1月~2月に対面での開催で調整する。

にしだ写真館 西田 朋之 氏(有明支部)  
<テーマ> コロナ禍における新サービス提供と業務DX化による作業効率向上計画

## 一般社団法人 共育ネットワーク

創業 2014年6月  
住所 久留米市東和町1-14 成富第一ビル4F・5F  
電話 0942-33-8833  
従業員数 6名(うちパート・アルバイト1名)  
URL https://sakura-fs.net  
事業概要 さくら国際高校久留米キャンパス・太宰府キャンパスおよびさくらフリースクールの運営



は一人では生きていけません。誰かに支えてもらっているのです。支えられているという事を明確に自覚できることが、すなわち自立だと思えます。それを『企業』に置き換えてみたいと思います。みんなに支えられて存在している、そのことを明確に自覚してみんなにお返ししていただく企業ではないでしょうか」と締めさせていただきました。取材協力ありがとうございました。

# 全県で 同友会を「知る会」を開催

会員増強部副部長  
(有)Makefast143 福岡オフィス  
横山 英宗(南支部)

会員増強部(以下「増強部」)では、各支部の支部長と増強担当者、事務局を中心に、毎月第一月曜日18時に活動しています。

## 増強部の役割と 増強活動の現状

まず、今期の増強部の方針は、「支部内で共に学び共に成長する風土を強化する」と「知る会を開催し福岡同友会の良さを伝える」の二つです。また、会員増強の理想の形は、入会三年以内の新会員が、同友会で学んだことを自社で実践し、小さな成功体験を通して「同友会の良さ」を体感すること。そして、良さを体感した会員がゲストを連れて来ることだと思っています。しかし現実には、多くの支部がそのような流れを確立できていない状況です。

福岡市近郊の支部とそれ以外の支部の抱えている問題も違います。会員数の少ない支部では積極的に同友会活動に参加する会員に役職が集中したり、例会のグループ討論が同じメンバーでマンネリ化したりしているなどの状況もあります。そういった背景も踏まえ、前期の半年間は、なぜ目標達成できなかったのか、目標達成に向けて具体的な課題や問題が共有できること、各支部の抱えている課題や問題が共有できること、各支部で協力し合えること、県としてやるべきことなどについて意見交換を行い、最終的に「同友会らしい学びと実践」が各支部でどれぐらいできているか、各支部で工夫していることや大切にしていること等について



## あなたはどんな事に 興味・関心がありますか？

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| ① 経営指針(計画・理念)作成 | ② 社員教育(人材育成)  |
| ③ 求人(採用)        | ④ 地球環境問題      |
| ⑤ 障害者雇用         | ⑥ 中小企業問題      |
| ⑦ 就業規則・労使間の問題   | ⑧ 新商品(サービス)開発 |
| ⑨ 国際交流          | ⑩ 企業継承問題      |
| ⑪ 資金繰り          | ⑫ 新規顧客開拓      |
| ⑬ その他           |               |

豊島 圭氏(博多支部)の報告の様子

## 部として「知る会」 支部運営の困難さ 向き合う

次に、増強活動における「知る会」の議論へと繋がっていききました。認識についてですが、福友支部を筆頭に、知る会を継続して行うことの大切さは数字でも証明されていると思います。また、自主的に「知る会」を運営で

きている支部では、「知る会」を継続的に進める仕組みやマニュアル化も進んでおり、増強部でも共有をすすめています。

しかし、会員数の少ない支部では、知る会を自主的に継続運営するのは会員の負担増を考えると、どうしても積極的になれない状況もあり、解決策を考えました。そこで、増強部が「知る会」の運営を行うことにし、全県で開催することにしました。コロナ禍もありZoom開催できたのが功を奏し、有明支部、りょうちく支部、のおがた支部、かすや支部、大牟田支部、玄海支部、糸島支部、飯塚支部、田川支部、久留米支部など、「知る会」を単独運営することが難しい支部と共同で作り上げることができました。

また、「知る会」を単独開催できている支部からは、グループ長など運営のフォローや、役員が同友会活動を改めて学びなおす場とし



増強部会議の様子

全県で行うメリットは、報告者を全県から選択することができることにあります。そのため、とても質の高い報告が可能になりました。報告者は入会三年以内の新会員と、ベテラン会員の二名で報告してもらいました。入会したきっかけや思い、入会してどういった気持ちや行動の変化が出たのか、また同友会を具体的にどう活用しているのか、自社がどう変化しているか、社員との関係がどう変わってきたのかなど赤裸々に報告してもらいました。

第一回全県知る会では、新入会員として株式会社マンジャの徳原さん(博多支部)、ベテラン会員として有明会社アサップ A S A P 動物病院の志柿さん(のおがた支部)、第二回全県知る会では、新入会員としてわかば不動産株式会社(中央支部)、ベテラン会員として株式会社ルックランの貞兼さん(南支部)、第三回全県知る会では、新入会員としてA I D A L I N K 株式会社の安永さん(中央支部)、ベテラン会員として株式会社愛業華田中ファームの田中さん(有明支部)に報告いただきました。どの報告者もゲストからの共感が高く、全県の会員の層の厚さを改めて感じさせられました。また今期の第三回全県知る会では、ゲストがおがた支部から二名、有明支部から一名、りょうちく支部から一名、南支部から一名と合計八名が参加いただき、そこからの入会にも繋がりました。

## 後期も基本を大切に

最後に、増強部では後期も「支部内で共に学び共に成長する風土を強化する」と「知る会を開催し福岡同友会の良さを伝える」の両輪で活動します。「共に学び共に成長する風土」におけるキーワードは「労使見解」です。より多くの支部、より多くの会員に、「労使見解の学びと実践」が広がるように呼びかけます。また、「知る会を開催し福岡同友会の良さを伝える」についても、前期よりもっと気軽に相談や意見交換ができる風土を作って行きたいと思っています。

# 1月の

# 行事案内

**17日** 18:30~21:00

**有明支部  
1月例会**

## ものづくり補助金活用による新たな事業展開

~2代目としての挑戦~

■ハynesホテル久留米 久留米市天神町1-6 ☎0942-32-7211

■古賀 渉太氏 有限会社九州ユアール工業 常務 有明支部

有明支部九州ユアール工業さんでは、ものづくり補助金を貰い、新しい機械を購入し、今の事業の延長線上に新しいことを始めました。また、「中小企業 新ものづくり・新サービス展」に出展し、販路拡大にチャレンジしています。今回の例会では、ものづくり補助金についての説明、展示会の結果報告とあわせて、今後の目標についても古賀さんから報告していただきます。

**18日** 18:30~21:00

**玄海支部  
1月例会**

## 私の会社これでいいの？ まな板の鯉2021

■WEB会議システム「Zoom」(※ミーティングID等は別途連絡)  
+天神ビル11階11号会議室 福岡市中央区天神2丁目12-1 ☎0120-323-920

■新原 一宏氏 クラフトテック株式会社 代表取締役 玄海支部

会社を設立して3年、なかなか思うようにいかない経営。一生懸命頑張っているのに「なぜ儲からないのか?」「なぜ社員が辞めていくのか?」と苦悩する日々。全てをさらけ出します。どうか皆さんわが社の問題点の解決法を教えてください!

**18日** 18:30~21:00

**博多支部  
1月例会**

## 貫き続けた経営姿勢 ベテラン社長から学ぶ経営の本質

■WEB会議システム「Zoom」(※ミーティングID等は別途連絡)  
+天神ビル11階10号会議室 福岡市中央区天神2丁目12-1 ☎0120-323-920

■手記の提供 平石 勝之氏 取締役会長 Gcomホールディングス株式会社 博多支部

■小松 公範氏 株式会社コマツ設計事務所 代表取締役 博多支部

■新里 良雄氏 新里行政・経理事務所 所長 代表取締役 博多支部

■竹原 恵美子氏 有限会社博多ビジネスセンター 取締役会長 博多支部

この度Gcomホールディングス株式会社の平石勝之さんが会歴50年を目前に引退を表明され、手記を残してくださいました。この手記を読み解き、改めて学びの本質とは何かを考え直し、経営者として今も昔も変わらない学びの本質に気づいていただける機会にさせていただきたいです。

**福岡  
地区**

## 2022年福岡地区新春講演会

### 小さなパン屋が 社会を変える



秋元 義彦氏

秋元さんがよく話される言葉に「ミッション・パッション・アクション」というのがあります。ミッションとは、自分の使命や果たすべき仕事。パッションとは、情熱や夢中になること。アクションとは、そのために行動すること。秋元さんは、最初から大きなことを目指した訳ではありません。目の前の困っている人を見て、話を聞いて、壁にぶつかっては乗り越え、夢中で試行錯誤した結果です。社会は自分の力では変えられないと諦めるのではなく、秋元さんの話を聴くと変えられるのだという希望が見えてきます。「諦めなければ、思いは叶う」という実践事例を講演して頂くことで「人を生かす」ために必要なことは何かを学んでいただけます。

**日時** 2022年 1月20日(木)  
18:30~21:00

**会場** 福岡国際会議場  
福岡市博多区石城町2-1 TEL:092-262-4111  
+WEB会議システム「Zoom」(※ミーティングID等は別途連絡)

**報告者** 秋元 義彦氏  
株式会社パン・アキモト 代表取締役

## 北九州地区 2022北九州地区新年祝賀会

### 人こそ財産 今だからこそ人間尊重



野田 勝広氏

観光都市京都で料亭・ホテル向けの食材卸業を営む野田氏は、コロナによって大きな打撃を受けました。しかしそんな時だからこそ、一人も解雇しないと人間尊重の経営を実践してきました。また、京都同友会代表理事としても、中小企業の存続に繋がるバックアップをお願いするため、金融機関だけでなく信用保証協会との連携を進めてきました。コロナという未曾有の危機に対して、企業として・同友会としてどのように立ち向かっていくべきか野田氏の報告から自社や同友会として何が必要かを学びましょう!

**日時** 2022年 1月18日(火)  
18:00~21:30  
第1部 記念講演 18:00~20:00  
第2部 賀詞交歓会 20:00~21:30

**会場** リーガロイヤルホテル小倉  
北九州市小倉北区浅野2丁目14-2  
TEL:093-531-3390

**報告者** 野田 勝広氏  
株式会社野田屋 代表取締役  
(京都同友会)

参加費: 第1部 記念講演のみ 無料  
第2部 賀詞交歓会 7,000円

お申し込み、お問合せは、e.doyu もしくは、同友会事務局まで  
お願いします。お知り合いの方を誘って、是非ご参加ください。

**りょうちく  
支部**

## りょうちく支部1月新春講演会

### 農家の生き残り戦略 ~潰れない農業経営のコツ~

こんな方にぜひ聴いてほしい!

- 大雨や台風等の自然災害の影響を受けている
- 農業経営において値段や条件交渉が出来ず、いつも交渉相手の言いなり
- もっと農家を大きくしたいけど、自分一人では限界がある
- 親から受け継いだけど、正直、経営の数字が分からない

**日時** 2022年 1月20日(木)  
19:00~21:00

**会場** 北野生涯学習センター 大ホール  
久留米市北野町中273-1  
TEL:0942-78-2308

**報告者** 高津佐 和宏氏  
アグリビジネスパートナー

**久留米  
支部**

## 久留米支部1月新春講演会

### 久留米入城400年と 近代久留米の歴史

久留米市文化財保護課から講師の小澤氏をお招きし、久留米市がなぜ軍都になったのか、軍都から商工業の発展、今に至る経緯など、久留米の歴史(近代史)を講演いただきます。

**日時** 2022年 1月21日(金)  
17:00~20:50

**会場** 有馬記念館 久留米市篠山町444  
萃香園ホテル 久留米市櫛原町87-87

**報告者** 小澤 太郎氏  
久留米市市民文化財文化財保護課  
事務主査

## 新会員フォローアップセミナー

1月27日(木) 18:00~21:00

■同友会会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 振興センタービル11F

我々経営者には、いかに環境が厳しくとも、時代の変化に対応して経営を維持し発展をさせる責任があります。共に学び、従業員をパートナーとして知恵と力をひきだし、「自立型企業」づくりに取り組みましょう。そして、地域経済を支えるのは我々中小企業と自覚をもって共に進みましょう。このセミナーは、新会員の皆さんが同友会の基本理念や歴史をよく理解し、また同友会の基本的な活動を知っていただき、各支部での活動へスムーズに参加いただくために開催します。

**筑豊  
地区**

## 2022年筑豊地区新年祝賀会

### 社員一人ひとりが輝ける 風土づくりと ビジネスモデルの構築 ~SDGsで会社は生まれ変わる!~



西岡 徹人氏

西岡氏は1999年に西岡興業を創業し、2006年に三承工業(株)を設立。自社の風土改革やビジネスモデル構築にSDGsの考え方を導入し、2018年外務省第2回SDGsアワードの特別賞を受賞しています。現在、多くの経営者がSDGsについて学び、自社経営に取り入れる重要性を感じていると思います。西岡氏の講演を通して、SDGsに取り組むことで会社がどのように変わるのか、社員が輝ける企業風土づくりに取り組まれた経営体験報告を聞き、SDGs時代の企業経営に活かしていただきたいと思ひます。

**日時** 2022年 1月21日(金)  
第1部 記念講演 18:00~20:00  
第2部 賀詞交歓会 20:00~21:30  
※賀詞交歓会は参加費(6,000円)がかかります。

**会場** エクセレントガーデン  
直方市頓野4069-9 TEL:0949-26-8808  
+WEB会議システム「Zoom」(※ミーティングID等は別途連絡)

**報告者** 西岡 徹人氏  
SUNSHOW GROUP 三承工業株式会社 代表取締役

**25日** 18:00~20:00

**福博支部  
1月知る会**

■天神チクモクビル 福岡市中央区天神3丁目10-27 ☎092-715-3250  
■鈴木 哲也氏 株式会社ヒトレーティング 代表取締役社長 福博支部  
■山本 つばさ氏 ギャラリー博多NEW CLUB 代表者 福博支部

**25日** 18:30~21:00

**南支部  
1月知る会**

## 異業種交流会&合同同期会

■会場未定  
ゲストに南支部のことを伝える機会もなくなり会員数が減少しています。この状況をコロナのせいにするのではなく、ゲストに南支部のことを知ってもらおう活動と、入会2年目までの同期会を同時に行うことによって増強活動のきっかけを作ります。

**27日** 19:00~21:00

**大牟田支部  
1月知る会**

## 社員さんを幸せにし、良い会社をつくるには?

■だいふく 大牟田市有明町2丁目1-3 ☎0944-53-3333  
■光本 智恵子氏 株式会社すこやか工房 代表取締役 東支部  
良い会社をつくるためには、社員さんの協力が必要不可欠です。社員さんがイキイキと働ける職場環境や社員さんが自主的に行動できる環境をつくる事は経営者の役割です。それらを実践されている光本さんの報告を聞き、ひとつでも自社へ持ち帰り、実践できる例会とします。



## お昼時間に 『例会』をしました!! ～福岡地区会 昼例会報告～



福岡地区例会づくりプロジェクトリーダー 阿部 弘美 (南支部)

日 時 : 2021年10月21日(木) 14:00～16:30  
 場 所 : 福岡県中小企業振興センター202号室&WEB会議システムZoom  
 テーマ : コロナ禍でたくましく生き残るニッチNo.1企業～自社の経営をランチェスター戦略で強化する～  
 報告者 : 山内経営株式会社 代表取締役 山内 修氏 (福博支部)  
 座 長 : 株式会社ChouChou 代表取締役 阿部 弘美 (南支部)  
 司 会 : 株式会社タガイト 代表取締役 金光 孝男氏 (南支部)



山内 修氏

金光 孝男氏

福岡地区会で今回、初めての試みとして、夜の例会に出られない方のための例会をお昼に開催してみました。

学ぶ方法がリアル (対面) からZoom例会やハイブリッド例会 (リアル+Zoom) という新しい形が生まれたように、今度は時間帯においても新しい形があっても良いのではないのでしょうか。同友会における経営者の学びの時間という点で、多様性を見出すことができました。

今回の例会は、「ランチェスター戦略」のエキスパートである山内さんの報告でした。何のために会社の経営をするのかという『理念』を具現化させるための『戦略』について学ぶことができました。

子育て中の女性経営者からは「例会が終わって家に帰っても子どものお迎えに間に合う」という声をいただきました。近年は男女問わず、働き方などに多様性が求められるようになりましたが、まだまだ女性が子育てや介護などを理由に、その時々で自分の働く時間や学びの時間を調整しなければならないことがたくさんあります。いずれ女性幹部を育てたい就業時間中に幹部社員と参加して学びたい! そんな可能性も見えた昼例会でした。



### 【編集後記】 (広報部 菅原 弘)

今回の例会の「ランチェスター戦略」の中で、「成果を上げるために、既存のお客様に新しい商品 を売る」という戦略が紹介されました。ふと思いましたが、同友会において商品とは「例会」です。成果を「増強」、新商品を「昼例会」と考えると、『同友会では会員増強のために昼例会を開催する』となりました。今回の学びでした。

**昼例会次回は2月に開催!ぜひご参加ください!**

あなたの記事でこのコーナーを飾りませんか?みなさんの投稿をお待ちしています。

**投稿方法** 郵送、メールいずれも可。表題に「月刊同友 会員からの投稿」とご記載ください。

**送付先** 郵送/下記「月刊同友」編集部まで メール/s\_asahi@fukuoka.doyu.jp(福岡同友会事務局 旭まで)

一般社団法人 福岡県中小企業家同友会  
「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号  
福岡県中小企業振興センタービル11階  
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

北九州地区センター

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39  
クルーズ浅野ビル 808号  
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

県南地区センター

〒830-0038 久留米市西町1367-1  
祥栄ビル2階  
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366

<https://www.fukuoka.doyu.jp/>

福岡同友会

検索

アンケートにご協力ください

月刊同友では、皆様からのご意見・ご要望を募集しています。よろしければQRコードからアンケートにお答えください。



回答締切 1月31日(月)